

長年ご愛用の自動車が増えています

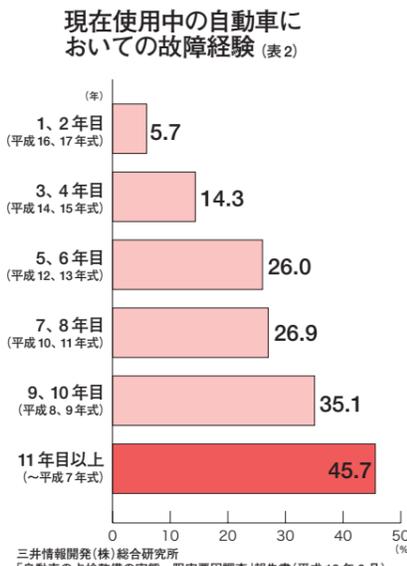
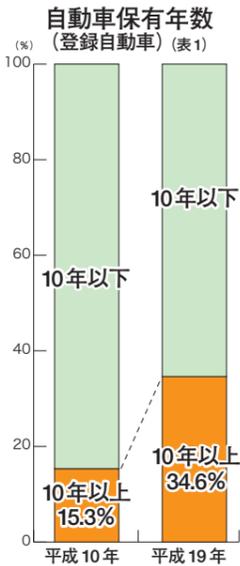
故障が多くなるなか 調子よく使うため、 「いたわり」の点検・整備を

長年にわたって車を使用する方が増えており、その数は今後ますます増加すると予測されています。低年式車(長寿車)は点検・整備を怠るとトラブルが発生するほか、交通事故や環境汚染を引き起こす可能性も高まります。快適なドライブを楽しむためにも、定期的な部品の交換や点検・整備を心がけてください。

愛車へのいたわり お忘れなく

乗用車(軽を除く)の平均使用年数は11.67年で年々延びています。平成10年には、新車登録から10年以上経過し

た車の割合は、全体の15.3%に過ぎませんでした。それが平成19年には34.6%と2倍以上に増えました。(表1)。それに伴い、長年使用している車の故障率が高まっています。新車



車は約3万点の部品で構成している最も身近な「高度精密機械」です。長寿命で調子よく動いていても、やはり機械なので「走る・曲がる・止まる」の使用によって、ベルト類やタイヤ

使わなくても 部品は劣化する

長く乗るからには、こまめなメンテナンスを。私は約10年間、同じ車に乗り続けています。愛着もありますし、もう少し乗りたいたいと考えており、そのためにも定期的な点検・整備は欠かせず行っています。小さなトラブルが大きき事故につながるかもしれません。こまめにメンテナンスをすることが、ドライバーの責任だと思います。

長く乗るからには、 こまめなメンテナンスを

私は約10年間、同じ車に乗り続けています。愛着もありますし、もう少し乗りたいたいと考えており、そのためにも定期的な点検・整備は欠かせず行っています。小さなトラブルが大きき事故につながるかもしれません。こまめにメンテナンスをすることが、ドライバーの責任だと思います。



池田市 雑賀永将さん

いたわりの 点検整備を

ている機械です。車は壊れないと信じ、点検・整備を怠ると、故障や交通事故といった深刻な状況に見舞われる可能性があります。

などの部品は摩耗・劣化します。また車を使用しなくても時間の経過によって、バッテリーやオイル類は自然に劣化するほか、温度や湿度によって不具合が起こる場合もあります。ユーザーの目に見える部分、見えない部分に関わらず、部品の摩耗・劣化には日ごろから気を配ることが重要です。

そもそも車は、定期的に点検・整備を行うことを前提につくられ

点検・整備はユーザーの義務です。しかし多くの場合は点検・整備の必要性を知らず、毎日の忙しさや「今まで大丈夫だったから」という理由で、ついおろそかにしがちです。でもトラブルが起きてから後悔しても遅いのです。車を長く使っている方ほど「自分の車は自分で守る」というスタンスが大切。快適なドライブを楽しむためにも、定期的な部品の交換や点検・整備を心がけてください。

かんたん マイカー点検 タイヤ編

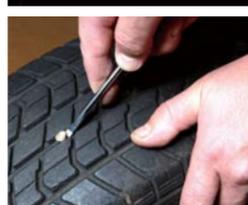
地面と接しているタイヤは、車の安全に関わる大切な部分です。異常がないかどうか、日々点検しておくことが必要です。

その① 空気圧



車を使わなくても、空気圧は変化します。まずはタイヤが地面に接している部分が異状にたわんでいないかどうかを調べましょう。空気圧が不足していると走行時の安定性や燃費が悪くなるほか、ハンド操作が重くなります。またタイヤゲージがあれば、より正確に点検できます。

その② 亀裂や損傷



地面と接しているタイヤは、車の安全に関わる大切な部分です。異常がないかどうか、日々点検しておくことが必要です。

その③ 溝の深さ



リップを起しやすくなり大変危険です。一部でもスリップサインが現れたら、車検が通りません。特に雨の日は危険な状態です。タイヤ交換のサインと覚えておいてください。なお、デプスゲージで計れば、残溝の深さが分かります。

季節のお手入れ情報

安い費用で安全確保<ワイパー>

ワイパーチェック

- ①ゴム部分に傷やひび割れがありませんか?
- ②ガラス面にふき残し・ムラができませんか?
- ③ふき取り時にビビリ音がしませんか?



ゴム部分(ラバー)は、使用していると変形し、ゴム質が劣化してスムーズにふき取れなくなります。またゴム部分が劣化しすぎると、フロントガラスを傷つけるおそれがあります。

雨天時にクリアな視界を確保するためにも、異常を感じたらすぐに交換することをおすすめします。整備士が推奨する交換の目安は、ブレードゴムが1年、ブレードは3年です。

不安を感じたら、トラブルが起きる前に
認証工場での点検・整備をおすすめします。

